

資料8. イギリスにおける鍵スキルのルーブリック (QCA, *Guidance on the Wider Key Skills*, 2001)

	レベル1	レベル2
他者との協働	<p>志願者は、他者と一緒に活動するような目標が与えられ、誰かを間近に活動して次のことができることを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ これらの目標がなされるために何が必要かを理解する ■ 自分の責任を果たすため課題を成し遂げる ■ どうやってうまくやったかを話し、他者との活動を向上させる方法を提案する 	<p>志願者は、他者との活動のための目標を同定し、次のことができることを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ これらの目標を達成するために何が必要かを計画し、責任を明確にする ■ 責任を果たす課題を組織し、他者と協力して活動する ■ 進歩に関する情報を交換し、他者との活動を向上させる方法に賛成する
自分の学習とパフォーマンスの向上	<p>志願者は誰かと間近に活動し、次のことができることを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 与えられた短期目標を理解し、どうやってこれらを達成するかを計画を立てる ■ 目標を達成するため計画に従い、パフォーマンスを向上させる ■ 進歩と達成事項を検討する 	<p>志願者は学習についていくつかの決断をする責任を取り、時には緊密な監督無しで活動し、次のことができることを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 短期目標を設定するのを助け、どうやってこれらを達成するかを計画を立てる ■ 目標を達成するために計画を使い、いつ他の人からの助けが必要かを同定する ■ 進歩を検討するときに達成事項を示す証拠を同定する
問題解決	<p>志願者は、わずかな数の解き方しかない問題を与えられ、誰かと間近に学習し、次のことができることを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 問題を理解し、解決する選択肢を同定する ■ 他者から得た支援とアドバイスをを用いて、選択肢を試す ■ 問題が解決されてきたかどうか点検するために、与えられた段階ごとの方法に従う 	<p>それぞれの問題の主要な特徴を明瞭に同定することができるが、志願者はいくつかのなじみのない資料を用いて、次のことができることを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 問題を同定し、問題を解決する選択肢を考えつく ■ 支援を獲得し、必要なら変更を加えて、選択肢を計画して試す ■ 問題が解決されてきたかどうかを点検するため与えられた方法を応用し、問題解決への自分のアプローチを説明する

レベル3	レベル4	レベル5
<p>志願者は、他者と活動するための目標に同意し、次のことができることを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 活動を計画し、責任と活動の取り決めに同意する ■ 困難を克服する方法に同意し、協力的な活動の関係を設立しようとし、維持する ■ 成果に影響した要素も含めて、他者との活動を見直す 	<p>志願者は、次のことができることを示すような大きな事例を少なくとも1つ作らなくてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 長期にわたって他者と活動するスキルを用いるための方略を発達させる ■ 少なくとも1つの複雑なグループ活動においてリーダーの役割を担うにあたって、求められた成果の質を確保するために、必要に応じて進歩をモニターし、方略を適応させる ■ 少なくとも1つのグループの状況において、全体的な方略を評価し、活動からの成果を提示する 	<p>レベル5においては、単一の「スキル明細」がある(人格的なスキル発達)。これは、志願者にコミュニケーション、他者との協働、問題解決の鍵スキルを応用することを求めるものである。</p> <p>志願者は、専門的に難しい活動において自分の学習とパフォーマンスを向上させるために、このことを統合されたやり方で行う必要がある。</p>
<p>志願者は、自分の学習のいくらかを監督する責任を取り、次のことができることを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 目標に同意し、どうやって長期間にわたって目標を達成するかを計画する ■ 目標を達成することを助けるため、計画を用い、関連する情報源からフィードバックと支援を求める ■ 進歩を検討するために達成事項の証拠を確立するため、関連する情報源から情報を求める 	<p>志願者は、学習の独立した管理されたやり方で学べることを示す大きな事例を少なくとも1つ作らなくてはならない。また次のことができなくてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 長期にわたって自分の学習とパフォーマンスを向上させる際に諸スキルを用いるための方略を発展させる ■ 少なくとも2つの異なる複雑な学習活動において求められる成果の質を確保するために、進歩をモニターし、必要なら方略を修正する ■ 全体的な方略を評価し、2つの異なる複雑な学習活動から学んだことの総合を含む学習の成果を提示する 	
<p>問題は、いくつかの取り組み方がある複雑なものである。志願者は様々な方法と資料を用いて、次のことができることを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 問題を探究し、選択肢を比較し、進むために選んだ選択肢を正当化する ■ 選択肢を計画して実施し、進歩を点検し、必要に応じてアプローチを修正する ■ 問題を解決してきたかを点検するために合意した方法を応用し、異なる問題解決的アプローチを検討する 	<p>志願者は、2つの問題を探究することができることを示すために大きな事例を少なくとも1つ作らなくてはならず、2つの問題のうちの1つに従事しなくてはならない。また、次のことができなくてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 長期にわたる問題解決においてスキルを使うための方略を発展させる ■ 少なくとも3つの選択肢がある複雑な問題に取り組む際に、求められる成果の質を確保するため、進歩をモニターし、必要なら方略を修正する ■ 全体的な方略を評価し、様々な方法を用いて学習から得た成果を提示する 	